

令和 2 年度

甲子園大学大学院 博士前期・後期課程

学生募集要項

心理学研究科 心理学専攻

博士前期課程 臨床心理学コース・心理学コース

博士後期課程 心理学コース

甲 子 園 大 学

心 理 学 研 究 科 の 概 要

人材養成の目的

本研究科は、「人間」の内面のこころや行動の法則を科学的、実践的な視点から明らかにし、問題を抱える人や、人間関係、社会生活で生じる心の問題解決ができる高度職業人や研究者を養成します。そのために、博士前期課程として「臨床心理学コース」と「心理学コース」を設置し、博士後期課程として「心理学コース」を設置しています。

【博士前期課程】

アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

臨床心理学あるいは心理学及び関連した分野の問題に、強い関心を持つと共に、人々の幸福の向上に取り組む真面目な態度と情熱を持っている人を求める。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- 臨床心理学と心理学コースに関わる現象について、科学的に探究し、問題を発見・解決していける高度専門職業人を養成するために、講義科目、演習科目、実習科目からなるカリキュラムを配置する。
- 自らの専門に対し複眼的な思考と視点を持ち、柔軟に取り組むことができるように「インターディシプリナリー研究」科目を配置する。
- 公認心理師及び臨床心理士として必要な専門的知識と技術を修得し、実習するための科目を配置する。
- 修士論文は、演習科目において実施した研究をもとに新たな知見について提示することを必修とする。

ディプロマ・ポリシー（学位（修士）授与の方針）

- 臨床心理学又は心理学を中心とした高度な専門領域について深い理解を持っていると同時に心理学以外の領域についても学び、物事を専門的に考えるために役立てることができていること。（知識）
- 臨床心理学又は心理学の知識を通して人間と社会への深い理解、さらに、社会人として求められる倫理観や責任を持ち、他者とともに専門職業人として協働できる能力を有していること。（態度）
- 臨床心理学又は心理学の知識を通して他者とのコミュニケーションスキル、データや資料を読み取る能力、情報処理能力などの技能を獲得していること。（汎用性技能）
- 総合的な学習経験と創造的な思考力の集大成として修士論文を提出していること。

【博士後期課程】

アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

心理学コースとして、「人間」の心についての専門的な知識や技能を持って、人や人間関係等に生じる様々な課題に取り組むことに強い関心を持っており、修得した知識や技能を教育・研究・実践に生かし社会で活躍することを目指している人を求める。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- 指導者・研究者として自立していくための高度な知識と技術の習得、あるべき態度の形成に必要なカリキュラムを配置する。
- 博士論文作成に向けた研究指導を第一の目的とするが学会発表や論文投稿についても積極的な指導を行う。
- カリキュラムの学びのほかに、TA・RAとしての機会を与え、指導者・研究者としての経験を積むことを奨励する。

ディプロマ・ポリシー（学位（博士）授与の方針）

- 心理学に関する最新の知見と考え方、対象としている社会的な問題とその周辺的な課題について専門的な知識に基づき、科学的な探究が行えること。（知識）
- 心理学についての未開拓、未解決な課題を解決するための研究を行い、関連する学問分野や社会に新しい知見を提供できるようになること。（態度）
- 心理学について、独自の研究計画・方法・知見を見出し、心理学研究分野に新しい知見を提供できること。（技能）
- 心理学について、上記の研究の集大成としての博士論文を提出していること。

1 募 集 人 員

研 究 科	専 攻	課 程	コ ー ス	募集人員
心 理 学 研 究 科	心 理 学	博士前期課程	* 臨床心理学コース 心 理 学 コース	8 名
	専 攻	博士後期課程	心 理 学 コ ー ス	2 名

*「臨床心理学コース」は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院として認定されております。

*公認心理師受験資格を得ようとする者は、「臨床心理学コース」において指定された科目を履修することが必要です。また、学部で指定された科目を履修していることが必要です。

2 出 願 資 格

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者、及び、令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者、及び、令和2年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び、令和2年3月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学に3年以上在学し、又は、外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者、及び、令和2年3月31日までに22歳に達する者
- (7) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

博士後期課程

- (1) 修士の学位を有する者、及び、令和2年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者、及び、令和2年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者、及び、令和2年3月31日までに24歳に達する者
- (5) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

〔注〕上記博士前期課程の(6)又は、博士後期課程の(4)により出願を希望する者は、8頁の「出願資格審査の申請」の項を参照のうえ、所定の手続を行うこと。

3 選 抜 方 法

- (1) 入学者選抜試験は、各コースごとに行う。
- (2) 入学者の選抜は、博士前期課程については筆記試験、面接、出身学校の成績証明書及び研究計画書を、博士後期課程についてはこれらに加え、修士学位論文の内容等を総合して行う。
- (3) 試験の方式は、博士前期課程、博士後期課程ともにA方式と社会人を対象とするB方式に区分し、これをあらかじめ選択することとする。
なお、B方式における社会人とは、入学時において、博士前期課程にあつては大学卒業後3年以上でかつ25歳以上の者とし、博士後期課程にあつては修士課程修了(修士学位取得)後3年以上でかつ27歳以上の者とする。

4 試験日及び試験科目

博士前期課程 臨床心理学コース 心理学コース	第一次	筆記試験	令和元年10月23日(水)	面接試験は、受験者全員に行う。
		面接試験	令和元年10月24日(木)	
	第二次	筆記試験	令和2年2月4日(火)	
		面接試験	令和2年2月5日(水)	
博士後期課程 心理学コース	筆記試験		令和2年2月4日(火)	
	面接試験		令和2年2月5日(水)	

博士前期課程

筆記試験、面接試験

臨床心理学コース、心理学コース

時間 科目 区分	9:30～10:30	11:00～12:30	10:00～
	外国語・論文	専門科目	面接
A方式	英語	志望するコースの 専門分野	主として、入学後専修を希望するコースに関するについて行う。
B方式	小論文		

- 注) 1 外国語、論文、専門科目ともに各コースの専門分野に応じた内容とする。
 2 外国人(在留資格が「留学」、「就学」又は受験のための「短期滞在」の者)の場合の外国語科目は、日本語とする。

博士後期課程

筆記試験、面接試験

心理学コース

時間 科目 区分	9:30～10:30	11:00～12:30	10:00～
	外国語・論文	専門科目	面接
A方式	英語	志望するコースの 専門分野	主として、研究内容に関するについて行う。
B方式	小論文		

5 試験場

甲子園大学大学院 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

6 出願受付期間

博士前期課程 臨床心理学コース 心理学コース	第一次	令和元年9月30日(月)～10月11日(金)
	第二次	令和2年1月15日(水)～1月28日(火)
博士後期課程 心理学コース	令和2年1月15日(水)～1月28日(火)	

7 出 願 手 続

(1) 提出書類等

書 類 等	備 考
入学志願票・写真票・受験票・副票	① 本学所定の用紙(裏面を含む)に本人が必要事項を記入したもの ② 写真(出願前3カ月以内に撮影した上半身、無帽正面向きで、縦5cm、横4cmのもの)を写真票の所定欄に貼り付けること
成績証明書 卒業(見込み)証明書 修了(見込み)証明書	① 博士前期課程 志願者は、出身大学の成績証明書及び卒業(見込み)証明書(出身大学長又は学部長が証明し、これを厳封したもの) ② 博士後期課程 志願者は、出身大学の学部及び大学院の成績証明書並びに大学院修士課程修了(見込み)証明書(出身大学長又は学部長、研究科長が証明し、これを厳封したもの)
修士学位論文等	博士後期課程 志願者は、修士学位論文の写し及び研究内容の要旨 修士の学位を取得見込みの者は、これに代え研究経過の概要(400字詰め原稿用紙20枚程度)
研究計画書	本学所定の用紙に本人が必要事項を記入したもの
受験承諾書	他の大学院在学者又は官公庁、会社等に在職中の者は、本学所定の用紙に所属研究科長又は所属機関の長が承諾したもの
登録原票記載事項証明書	日本国に居住している外国人は、市区町村長の交付したもの
職歴・業績書	B方式(社会人)により出願する者は、本学所定の用紙に本人が必要事項を記入したもの
入学検定料	30,000円(出願を郵送で提出する場合は、郵便普通為替とし、受取人指定欄及び住所欄は、記入しないこと)
受験票返送用封筒	出願を郵送で提出する場合は、定形長3号(12cm×23.5cm)の封筒に書留速達郵便料792円分の切手を貼付し、受取人の住所、氏名を明記したもの ※令和元年度中に消費税率の改定が行われた場合は、改定後の税率に即した速達郵便料の金額に見合う切手を貼付してください

注) 1 博士前期課程の出願資格(2)により出願する者

独立行政法人大学評価・学位授与機構より学位を授与された者は、同機構が証明した学位授与証明書(授与見込みの者は、学位授与申請受理証明書)並びに最終学校及び科目等履修に関する学業成績証明書等を提出すること。

2 外国人(在留資格が「留学」、「就学」又は受験のための「短期滞在」の者)は、パスポートの写しを提出すること。

3 提出書類は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入すること。

4 提出された書類は、入学者選抜に関する目的にのみ利用し、その他の目的には使用しない。

(2) 出願受付

場 所 甲子園大学大学院事務室

〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

時 間 平 日 午前9時30分～午後4時

(3) 出願時の注意

- ① 出願にあたっては、志望するコース、科目の研究内容等を確認、不明な点があれば、下記に問い合わせること。

問い合わせ先 大学院事務局 0797-87-5111(内線 610)

- ② **郵送により出願する場合は、書留速達郵便**とし、封筒の表に「大学院心理学研究科出願書類」と朱書し、上記あてに締切日（当日消印有効）までに送付すること。
- ③ 出願期間内に所定の書類が完備しない出願は受理しない。また、いったん提出した書類及び入学検定料は事由を問わず返還しない。
- ④ 博士後期課程受験者は、指導を希望する教員と事前に面談をしておくことが望ましい。

8 合 格 発 表

博士前期課程 臨床心理学コース 心 理 学コース	第 一 次	令和元年11月7日(木)午前10時	本学内に掲示するとともに合否にかかわらず全員に通知する。 電話等による問い合わせには、応じない。
	第 二 次	令和2年2月19日(水)午前10時	
博士後期課程 心 理 学 コー ス		令和2年2月19日(水)午前10時	

9 入 学 手 続

- (1) 入学試験合格者は、次表の入学手続期限までに入学手続書類を提出すること。
入学金は、次項「10 入学金及び授業料等」により 納入期限までに全額を納入すること。
- (2) 上記入学手続者には、入学許可書を送付する。
- (3) 所定の期限までに入学手続を完了しない者には、入学を許可しない。
- (4) 入学手続者のうち卒業見込み（修了見込み）又は学位授与見込みで受験した者は、平成 30 年 3 月末日までに卒業証明書（修了証明書）又は学位授与証明書を提出すること。この証明書の提出がない場合は、入学許可を取り消す。
- (5) 入学許可書を受領した者は、次表の授業料等納入期間内に授業料及びその他の納入金を納入（次項「10 入学金及び授業料等」を参照のこと）すること。この期間内に納入のない場合は、入学許可を取り消す。
- (6) 受理した入学手続書類及び入学金、授業料等については、事由を問わず返還しない。ただし、授業料等の返還希望を申し出て、次表の提出期限までに、本学所定の入学辞退届を提出した者に限り、入学金を除く授業料等を返還する。

区 分	入 学 手 続 期 限		授 業 料 納 入 期 間	入 学 辞 退 届 提 出 期 限
博士前期課程 臨床心理学コース 心 理 学 コー ス	第 一 次	令和元年 11 月 28 日 (木)	令和2年 1 月 6 日(月) ～ 1 月17日(金)	令和 2 年 3 月 31 日(火)15 時
	第 二 次	令和 2 年 3 月 4 日 (水)	令和2年 2 月 26 日(水) ～ 3 月 4 日(水)	
博士後期課程 心 理 学 コー ス		令和 2 年 3 月 4 日 (水)	令和2年 2 月 26 日(水) ～ 3 月 4 日(水)	

10 入学金及び授業料等

(1) 入学金

入学金は、下記の金額を納入期限までに一括して納入してください。

博士前期課程 350,000円

博士後期課程 350,000円

区 分	納 入 期 限	
博士前期課程 臨床心理学コース 心 理 学コース	第 一 次	令和元年11月28日(木)
	第 二 次	令和2年 3月 4日(水)
博士後期課程 心理学コース	令和2年 3月 4日(水)	

(2) 授業料等

授業料、施設設備費は、分割納入制を採用しておりますが、納入者の希望により前期納入金、後期納入金ごと一括納入もできます。次表の金額を納入期限までに納入してください。

◎ 分割納入

区 分			授業料	施設設備費	計	納 入 期 限
博 士 前 期 課 程	前 期 納入金	一次納入金	円 129,500	円 18,500	円 148,000	第一次合格者 令和2年1月17日(金) 第二次合格者 令和2年3月4日(水)
		二次納入金	129,500	18,500	148,000	令和2年7月20日(月)
	後 期 納入金	一次納入金	129,500	18,500	148,000	令和2年10月20日(月)
		二次納入金	129,500	18,500	148,000	令和3年1月20日(水)
博 士 後 期 課 程	前 期 納入金	一次納入金	154,500	18,500	173,000	令和2年3月4日(水)
		二次納入金	154,500	18,500	173,000	令和2年7月20日(月)
	後 期 納入金	一次納入金	154,500	18,500	173,000	令和2年10月20日(月)
		二次納入金	154,500	18,500	173,000	令和3年1月20日(水)

◎ 一括納入

区 分		授 業 料	施設設備費	計	納 入 期 限
博 士 前 期 課 程	前期納入金	円 259,000	円 37,000	円 296,000	第一次合格者 令和2年1月17日（金） 第二次合格者 令和2年3月4日（水）
	後期納入金	259,000	37,000	296,000	令和2年10月20日（月）
博 士 後 期 課 程	前期納入金	309,000	37,000	346,000	令和2年3月4日（水）
	後期納入金	309,000	37,000	346,000	令和2年10月20日（月）

(3) その他の納入金

- ① 入学金、授業料等のほかに、公益財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険料等を納入していただきます。
- ② 博士前期課程は、実習費等を納入していただきます。
※詳しくは、合格通知書送付時にお知らせします。
- ③ 博士前期課程の臨床心理学コースについては、入学後にスーパービジョンや学外実習のため別途特別実習費を必要とします。

11 奨学金制度

甲子園大学奨学金(仮称)並びに独立行政法人日本学生支援機構（旧日本育英会）の奨学金制度があります。

12 長期履修学生制度

職業を有しておられる社会人の方々の学習機会を拡大する観点から、甲子園大学大学院では2015（平成27）年度から「長期履修学生制度」を導入しています。

この制度は、職業を有している等の事情で、通常の修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）で修了することが困難な方が、標準修業年限を超える履修期間を設定し、計画的に課程を修了するためのものです。

詳細は大学院事務室までお問い合わせください。

出 願 資 格 審 査 の 申 請

博士前期課程の出願資格(6)又は、博士後期課程の出願資格(4)により出願を希望する者は、出願前に資格審査を行うので、資格審査申請書類を大学院事務室へ請求すること。

なお、郵便で請求するときは、返信用封筒(定形長3号:12cm×23.5cm)に郵送料120円分の切手を貼付し、受取人の住所、氏名を明記したものを同封すること。

また、大学あての封筒の表に「大学院出願資格審査申請書類請求」と朱書きすること。

(1) 審査方法

書 類 審 査

(2) 提出書類

- ① 出願資格審査申請書(本学所定の用紙)
- ② 履 歴 書(本学所定の用紙)
- ③ 最終学歴の卒業証明書
- ④ 最終学歴の成績証明書
- ⑤ 学習歴、教育歴、実務・活動経験歴に関する申立書(本学所定の用紙)及び、それらを証明する資料
- ⑥ 研究希望等調書(本学所定の用紙)

(3) 申請期間

博士前期課程：臨床心理学コース、心理学コース

第一次 令和元年8月26日(月)～8月28日(水)

第二次 令和元年12月4日(水)～12月6日(金)

博士後期課程

令和元年12月4日(水)～12月6日(金)

(4) 申請受付

場 所 甲子園大学大学院事務室

〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

時 間 平 日 午前9時30分～午後4時

郵送により申請する場合は書留速達郵便とし、封筒に「大学院出願資格審査書類」と朱書きし、上記あてに締切日(当日消印有効)までに送付すること。

(5) 審査結果通知

博士前期課程：臨床心理学コース、心理学コース

第一次 令和元年9月13日(金)

第二次 令和元年12月24日(火)

博士後期課程

令和元年12月24日(火)

出願資格審査の結果は、申請者に対し、上記期日までに文書により通知する。

受 験 上 の 注 意

筆 記 試 験

- ① 受験者は、各自が受験する試験科目の試験開始時刻の30分前までに、大学院事務室で試験室を確認のうえ、当該試験室に入室してください。
- ② 試験室に入室後は、座席表を確認のうえ、各自の受験番号の示されている座席に着席し、受験票を机の上に置いてください。
- ③ 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試験開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ④ 試験開始の合図があるまでは、配布された問題紙、解答用紙に手を触れないでください。
- ⑤ 配布された問題紙、解答用紙には、必ず受験番号を記入してください。氏名は記入しないでください。
- ⑥ 試験中に机の上に置くことができるものは、受験票、筆記具、消しゴム及び計時用の時計のみとします。その他の手荷物はカバン等に入れ、各自の足もとに置いてください。
- ⑦ 携帯電話を持参する者は、試験終了まで電源を切っておいてください。
- ⑧ 試験開始後30分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ⑨ 試験終了の合図とともに答案の作成を中止し、着席したまま監督者の指示に従ってください。

面 接 試 験

- ① 受験者は、指示された時刻までに、面接控室に入室してください。
- ② 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試験開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ③ 面接開始時刻後30分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ④ 昼食及び湯茶の必要な者は、各自持参してください。

心理学研究科心理学専攻(博士前期課程)の教育課程

令和元年6月現在

区 分		授 業 科 目	単 位 数		担 当 教 員
			必修	選択	
演 習 科 目	心理 学 コ ー ス	心理学演習ⅠA	4		講 師 吉 田 千 里
		心理学演習ⅠB	4		講 師 吉 田 千 里
		心理学演習ⅡA	4		准教授 金 敷 大 之
		心理学演習ⅡB	4		准教授 金 敷 大 之
		心理学演習ⅢA	4		准教授 金 敷 大 之
		心理学演習ⅢB	4		助 教 市 川 祥 子
	臨 床 心 理 学 コ ー ス	臨床心理学演習ⅠA	4		教 授 酒 井 律 子
		臨床心理学演習ⅠB	4		教 授 酒 井 律 子
		臨床心理学演習ⅡA	4		教 授 東 齊 彰
		臨床心理学演習ⅡB	4		教 授 東 齊 彰
		臨床心理学演習ⅢA	4		講 師 真 崎 由美子
		臨床心理学演習ⅢB	4		講 師 真 崎 由美子
		臨床心理学演習ⅣA	4		教 授 安 村 直 己
		臨床心理学演習ⅣB	4		教 授 安 村 直 己
		臨床心理学演習ⅤA	4		准教授 青 柳 寛 之
		臨床心理学演習ⅤB	4		准教授 青 柳 寛 之
		臨床心理学演習ⅥA	4		教 授 酒 井 律 子
		臨床心理学演習ⅥB	4		助 教 小 泉 誠
講 義 科 目	共通	インターディシプリナリー研究	2		各 担 当 教 員
	心理 学 コ ー ス	心理学特論	4		准教授 金 綱 知 征
		社会心理学特論		2	講師(非) 早 坂 三 郎
		認知心理学特論		2	准教授 金 敷 大 之
		学習心理学特論		2	助 教 小 泉 誠
		犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2	教 授 十 倉 利 廣
		老年心理学特論		2	講 師 吉 田 千 里
	臨 床 心 理 学 コ ー ス	臨床心理学特論*	4		教 授 酒 井 律 子 講 師 真 崎 由美子
		臨床心理面接法特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)*	2		教 授 安 村 直 己
		臨床心理面接法特論Ⅱ*	2		教 授 東 齊 彰
		臨床心理査定演習Ⅰ (心理アセスメントに関する理論と実践)*	2		准教授 青 柳 寛 之 助 教 小 泉 誠
		臨床心理査定演習Ⅱ*	2		准教授 青 柳 寛 之 助 教 小 泉 誠
		人格心理学特論		2	講師(非) 手 塚 千恵子
		投影法特論*		2	講師(非) 高 橋 依 子
		発達心理学特論		2	助 教 小 泉 誠
		障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		2	助 教 小 泉 誠

心理学研究科心理学専攻(博士前期課程)の教育課程

令和元年6月現在

区 分		授 業 科 目	単 位 数		担 当 教 員
			必修	選択	
講義科目	臨床心理学コース	心理療法特論Ⅰ		2	
		心理療法特論Ⅱ			
		心理療法特論Ⅲ			角 田 豊
		学校臨床心理学特論		2	講師(非)
		精神医学特論		2	講師(非) 深 尾 憲二郎
	専門関連科目	質的調査法特論		2	准教授 金 綱 知 征
		社会調査法特論		2	准教授 金 敷 大 之
		多変量解析特論		2	准教授 金 綱 知 征
		社会調査法基礎		4	准教授 金 敷 大 之
		社会調査統計学基礎		4	准教授 金 敷 大 之
		多変量解析基礎		2	准教授 金 綱 知 征
実習科目		臨床心理基礎実習		2	教 授 安 村 直 己 教 授 酒 井 律 子 助 教 小 泉 誠 講師(非) 川 口 裕 子
		臨床心理実習		2	教 授 東 齊 彰 准教授 青 柳 寛 之 講 師 真 崎 由美子

下記により、30 単位以上を修得すること。

- 1 所属するコースの「演習」2 科目 8 単位（ただし、臨床心理査定演習は臨床心理学コース必修なので、それ以外の演習から 2 科目 8 単位を習得すること。）
- 2 インターディシプリナリー研究 4 単位
- 3 講義・実習科目（所属するコースの講義科目 8 単位を含め）18 単位以上

心理学研究科心理学専攻(博士後期課程)の教育課程

令和元年6月現在

区 分		授 業 科 目	単 位 数		担 当 教 員
			必修	選択	
演習科目	心 理 学	心理学研究Ⅰ A	4		准教授 金 敷 大 之
		心理学研究Ⅰ B	4		准教授 金 敷 大 之
		心理学研究Ⅱ A	4		准教授 金 敷 大 之
		心理学研究Ⅱ B	4		准教授 金 敷 大 之
		臨床心理学研究Ⅰ A	4		教 授 安 村 直 己
		臨床心理学研究Ⅰ B	4		教 授 安 村 直 己
		臨床心理学研究Ⅱ A	4		教 授 東 齊 彰
		臨床心理学研究Ⅱ B	4		教 授 東 齊 彰
		臨床心理学研究Ⅲ A	4		教 授 酒 井 律 子 准教授 青 柳 寛 之
		臨床心理学研究Ⅲ B	4		教 授 酒 井 律 子 准教授 青 柳 寛 之

研究テーマに即した授業科目について 8 単位を習得すること。

大学院担当教員の主な研究内容

博士前期課程・後期課程

令和元年6月現在

部 門	氏 名	研 究 分 野	主 な 研 究 内 容
心 理 学	准教授 博士（文学） 金 敷 大 之	認 知 心 理 学 社 会 心 理 学	行為とメタ認知についての研究 行為における意志についての研究
	講 師 博士（学術） 吉 田 千 里	発 達 心 理 学 認 知 心 理 学	社会的認知発達における運動発達の役割 環境との協調的運動の学習に関する研究 視空間イメージの変換特性と神経基盤
	助 教 博士（学術） 市 川 祥 子	社 会 心 理 学	被服意識・被服行動に影響を及ぼす諸要因に関する研究 消費行動にみるファッション意識の異文化間比較 対人関係と被服行動に関する研究 教育環境や子どもの人間関係における学校制服の効用
臨床心理学	教 授 教育学修士 臨床心理士 安 村 直 己	臨 床 心 理 学	心理療法の研究と実践、特に精神分析的心理療法における治癒因子の研究 自己愛の発達と精神的健康の研究 家族力動と精神障害の研究
	教 授 文学士 臨床心理士 酒 井 律 子	臨 床 心 理 学 心 理 療 法	心理療法の研究と実践、特に子どもを取り巻く人的資源のもつ心理臨床的機能に関する研究 女性における中年期に関する研究 心理臨床と「枠」に関する研究
	教 授 文学修士 臨床心理士 東 斉 彰	心 理 療 法 学 発達臨床心理学	認知行動療法、統合・折衷的心理療法の実践と研究 心理学、臨床心理学の比較認識論的研究 発達過程における心理的障害のアセスメントと援助についての実践的研究
	准教授 修士（教育学） 臨床心理士 青 柳 寛 之	心 理 療 法 心 理 査 定 臨 床 心 理 学	心理療法の研究と実践、特に心理学的「質」についての「気づき」と「変化」に関する研究 「風土」の要素を考慮に入れた心理療法の研究 心理アセスメント、特に投影法に関する研究
	講 師 修士（人間環境学） 臨床心理士 真 崎 由美子	臨 床 心 理 学 心 理 療 法	笑いの葛藤と心理的適応感の研究 子どものライフスタイルと精神的健康の研究 精神分析的心理療法の研究と実践
	講 師 修士（心理学） 臨床心理士 小 泉 誠	臨 床 心 理 学	ナラティブ・アプローチからの心理療法プロセス 心理療法の質的研究 精神分析的心理療法の事例研究
	講 師（非） 博士（文学） 臨床心理士 高 橋 依 子	臨 床 心 理 学 投 影 法 心 理 療 法	包括システムによるロールシャッハ・テストの日本における標準化 投影法による心身症のパーソナリティの理解 樹木画テストの臨床的応用 青年のアートセラピーの研究

大学院担当教員の主な研究内容

博士前期課程・後期課程

令和元年6月現在

部 門	氏 名	研 究 分 野	主 な 研 究 内 容
臨床心理学	講 師(非) 医 師 深 尾 憲二朗	精 神 医 学	精神疾患症例研究 人脳の神経生科学的研究と精神疾患
	講 師(非) 臨床心理士 精神分析認定心理療法士 手 塚 千恵子	臨 床 心 理 学 心 理 療 法	精神疾患のコンバインド・セラピーの研究 母親の虐待問題へのカウンセリング 対象喪失へのカウンセリング
	講 師(非) 教育学修士 臨床心理士 徳 田 仁 子	臨 床 心 理 学 教 育 心 理 療 法	教師と共に関わる援助法 心理療法におけるセラピストとクライアントの相互作用
専門関連科目	教 授 修士(文学) 浦 田 洋	犯 罪 心 理 学	非行・犯罪臨床における心理アセスメントと処遇 子どもの問題行動の理解と対応
	助 教 修士(文学) 藤 林 園 子	ス ポー ツ 心 理 学 ス ポー ツ 科 学	身体運動の制御 時間予測と筋出力の調整 運動、スポーツが心身に及ぼす影響

・ 問い合わせ先 ・

甲子園大学 大学院事務室

〒665-0006 宝塚市紅葉ガ丘10番1号

TEL 0797-87-5111

FAX 0797-87-5666

URL <http://www.koshien.ac.jp>